

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【西之表市立伊関小学校】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	西之表市立伊関小学校 1年生 4名 2年生 8名 4年生 4名 5年生 2名 6年生 1名 教職員10名 (計29名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科・総合的な学習の時間・学級活動) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ④ イベント名 () ⑤ その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピアンやパラリンピアンを考えや生き方に触れることで、困難に立ち向かい、夢や目標を定めて、努力をし続ける姿勢を育てる。 (2) オリンピック・パラリンピックの意義を学び、人権教育の視点に立って、国際平和や国際・異文化理解、他者と協力・共存していこうとする態度を育てる。 (3) 目標を設定し、それに向かって努力することで、達成感や充実感をもたせる。
5 取組内容	(1) 第1～6学年(体育科・総合的な学習の時間・学級活動) 「パラリンピックスポーツについて学ぼう」 ・ 「I'm possible」の資料を活用し、授業を行った。 ・ 学校にある道具を工夫し、「ポッチャ」の疑似体験を行った。



	<p>(2) 第1～6学年（体育科） 「パラリンピアン」の講演会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義足の陸上選手「村上清加」さんの講演会 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックスポーツの意義や種目について学ぶことで、様々な工夫を行い、障害がある方でも同じようにスポーツを楽しむことができることを知り、東京オリンピックと同様に東京パラリンピックに対する興味・関心を高めることができた。 ○ 村上選手の講演会を通して、生き方・考え方を学び、困難に立ち向かい、前向きに努力し続けることの大切さや自分を支えてくれている人々への感謝の気持ちをもつことの大切さに気付くことができた。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標と本事業をつなげ、本校の目指す子供像の具現化を図る教育活動を意識し、全職員で共通理解や実践を行った。 ○ パラリンピックについて事前学習を行うことで、パラリンピック競技の素晴らしさや楽しさ、難しさを感じさせ、講演会へつながるようにした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育課程の中にオリパラ教育を位置付けて、継続して計画的に取り組んでいくことが必要である。 ○ より多くの方にオリパラ教育を啓発していくためには、保護者や地域の方々にも講演会等に参加していただく必要がある。 ○ 活動の充実、発展を図っていくために、全職員がオリパラ教育について共通理解する機会を設ける必要がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京2021オリンピック・パラリンピックに向けて、オリパラ教育の意義を踏まえた活動を積極的に取り組んでいく。 ○ 児童たちにオリンピック・パラリンピック種目を体験させることで、更にスポーツに対する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心の育成を行っていく。